

2024年7月31日

日本国際経済学会会員各位

関東支部新春特別シンポジウムと第2回学生研究報告会のご案内

拝啓

日本国際経済学会会員の皆さまにおかれましては、益々ご清祥のことと存じます。本年度1月の関東支部会に於きまして、新春特別シンポジウムと第2回学生研究報告会を下記の通り開催いたしますので、ご案内いたします。

開催日時：2025年1月11日（土）

第2回学生研究報告会：午後1時30分～午後4時10分

休 憩：午後4時10分～午後4時30分

新春特別シンポジウム：午後4時30分～午後6時30分

第2回学生研究報告会表彰式：午後6時40分～午後7時00分

懇親会（会員と報告学生）：午後7時15分～8時45分

会場：日本大学経済学部（水道橋）

新春特別シンポジウムでは、登壇者3名が各25分間の報告を行い、10分間の休憩の後に35分間の全体討論を行う予定です。詳細につきましては12月に学会HP等を通じて会員へお知らせします。学生研究報告会に参加した学生を新春特別シンポジウムに招待します。

学生研究報告会の詳細は下記の通りです。

応募資格：関東支部会員の推薦を受けた学部生

（会員は1個人あるいは1グループのみ推薦可）

応募方法：報告希望者（またはグループ代表者）が特設HPからオンラインで申し込む。報告タイトル、氏名・所属、連絡先（メールアドレス）、推薦会員の氏名・所属、報告希望分野、報告言語（英語または日本語）、参加者数・参加方法、旅費補助の希望等を入力し、要旨（日本語300文字、英語150 words）を提出する。

報告分野：国際経済に関する①理論研究 ②実証研究 ③事例研究（ケーススタディ）

応募開始：2024年11月5日（火）会員の皆様には報告申込用の特設HPのURLをお送りします。

応募締切：2024年12月8日（日）

採択通知：2024年12月16日（月）

実施方法：原則、会場でのプレゼンテーション

報告時間：10分（10分間の報告後に3分間の交代時間を設ける）、質疑応答はなし。コメントはGoogle formで受け付け、報告代表者と推薦者に送付。

参加資格：会員と事前登録した非会員（学部生や大学院生の参加を奨励）

その他：

- すべての報告を1教室で合同実施するため、3分野合わせて12報告を上限とする。
- 全体の報告申し込み数が12を超えた場合、報告希望が多数の分野で選考を行う。選考を実施する分野と当該分野の報告数はプログラム委員会が決定し、選考方法は当該分野で報告を推薦した会員による無記名投票とする。
- すべての報告者に参加賞として記念品を贈呈する。
- 「学生報告奨励賞」の授与
報告分野ごとに「学生報告奨励賞」を選出し、賞状を授与する。選出は当日会場に参加した関東支部会員の投票により行う。「学生報告奨励賞」は分野ごとに選出する（最優秀賞などの選出は行わない）。
- 「ベストテーマ賞」と「ベストプレゼンテーション賞」の授与
すべての報告から「ベストテーマ賞」と「ベストプレゼンテーション賞」を選出し、賞状を授与する。選出は当日参加したすべての参加者の投票により行う。
- 学生報告奨励賞、ベストテーマ賞、ベストプレゼンテーション賞の重複受賞はない。
- 遠方から参加する学生（1報告につき1申請）に旅費（交通費）補助を支給する。
北海道：旅費の補助として3万5千円を上限とする実費。
北東北（青森、秋田、岩手）：旅費の補助として3万円を上限とする実費。
南東北（宮城、山形、福島）・新潟：旅費の補助として2万円を上限とする実費。
静岡・長野・栃木・群馬：旅費の補助として1万5千円を上限とする実費。
山梨・茨城：旅費の補助として1万円を上限とする実費。
*一都三県からの参加者には旅費補助は支給されない。大学から補助がある場合は原則併用不可とするが、大学からの補助だけでは不足する場合には補助対象とする。希望者は応募時に申請すること。

敬具

学生研究報告会準備・プログラム委員会

井尻 直彦（日本大学経済学部）

小西 宏美（駒澤大学経済学部）

小森谷徳純（中央大学経済学部）

笹原 彰（慶應義塾大学経済学部）

戸堂 康之（早稲田大学政治経済学術院）

細井 長（國學院大学経済学部）

松浦 寿幸（慶應義塾大学産業研究所）

椋 寛（学習院大学経済学部）

日本国際経済学会関東支部

支部代表 蓬田 守弘（上智大学経済学部）

支部事務局 溝口 佳宏（帝京大学経済学部）